

ターゲット
標的は人間！

チェイサー
追跡者は犬！

それは、人間の10倍の聴覚、100倍の嗅覚、
10倍のスピードで獲物を追いつめる！



〈カラー作品〉

ドッグチエイサー

THE DOG

ジェーソン・ミラー
レア・マッサリ
アリサ・パレデス
アルド・サンブレル



製作◆エンリケ・グティエレス
ル◆ラファエル・ベレス・メンサケ
監督◆アントニオ・イサシ
原作◆アルベルト・ウアスケス・フィゲロア
撮影◆ファン・ゲルビ
音楽◆アントン・ガルシア・アブリル

ジョイナル・コロン提供

ドッグ・チェイス

■スタッフ

製作.....エンリケ・グティエレス
 ラファエル・ベトス・メサ
 監督.....アントニオ・イボル
 ファン・アントニオ・イボル
 原案.....アルベルト・ヴァスケス・フアン
 アルベルト・ヴァスケス・フアン
 原作.....アルベルト・ヴァスケス・フアン
 撮影.....アントン・ガルシア
 音楽.....

■キャスト

アリスティデス・ウングリア.....ジェーソン・ミラー
 ミュリエル.....レオ・マツサリ
 アリサ・バレデス/アルド・サシバル
 ファン・アントニオ・パルテム



犬は、昔から人間の良き友とされ、主人に対する忠誠心は他の動物を遙かに凌いでいる。主人の命令は、その善悪とは関係なく、命がけて遂行する。犬の嗅覚は人間の3000倍、聴覚は100倍、速度は10倍といわれる。この抜群の武器で獲物を確実に捕えるわけだ。が、一転、この凄いパワーのターゲットが人間だとしたら!?

現代、某国——独裁者アレバロに反抗してサン・ジュスト刑務所に政治犯として捕えられていた学者アリが、脱獄する。灼熱の太陽の下、アリを追跡するのは、冷酷無情な監督官ザンチヨとその忠実なシェパード犬。この犬は強靱な肢体と犬とも思えぬ頭脳で、数十匹の追跡犬の中で一番検挙率が高く、ザンチヨのお気に入りである。

脱獄前夜、アリと一緒に投獄されていたオレステ教授から、クーデターに関する暗号を聞いていた。反政府グループの重要メンバーの名が数式に隠されているその暗号をアリに伝えた教授は、拷問中に自から命を絶つた。

暗号の数式を復唱しながら、アリはひたすら走る。岩山を下り、大河を渡り、荒野を駆け抜けた。どの位走ったのだろうか、アリは湖に辿りつき、喉の渇きをいやすと、疲労と汗にまみれて眠ってしまった……。

ウーッ! 突然、獣の唸りにアリは身を固めた。見開いたアリの眼に写ったのは、眼前に仁王立ちとなったザンチヨとその足元で牙をむく追跡犬だ。

シヨット・ガンを構えたザンチヨが、ベツと唾を吐いて、言う。
 「こいつが一番速くまで逃げやがった」

隙をついたアリが銃を奪った。次の瞬間、ザンチヨの巨体は銃弾で血に染まって、飛んだ。だが、犬は、銃口より一瞬早く身を隠した。アリはそのまま、そこから逃げ出した。この時、この犬を殺せなかった事が、アリを苦境に落とし入れた。

血みどろのザンチヨの腕を銜え、悲しげに鼻を鳴らす犬に、死に際のザンチヨが命令する。
 「あ・い・つ・を・殺・せ! 絶・対・に……」

ドッグが猛然とダツシュした。命令に忠実な殺し屋として——。

スペインの作家アルベルト・ヴァスケス・フイゲロアの原作は、犬と人間の追跡と逃亡に焦点をあて、宿命的な敵対関係の中にもめばえる「情」をスリリングな展開の中に書き込んでいる。だが、映画では「情」は一切とりのぞかれ、ひたすら逃亡者を執拗に追う狂暴なドッグの姿を描く。

映画に登場するシェパードは、一九七五年まで、スペインのフランコ政権統治下で、実際に刑務所の追跡犬として活躍していたため、武器を構えた人間に対しては、喉に咬みつき、確実に殺す訓練を受けている。撮影中、銃を持つシーンの多いジェーソン・ミラー等の俳優たちは、いつもドッグに気を配り、命がけだったという。

主演は、ドッグ。そしてアリ役の渋い二枚目、「エクソシスト」のジェーソン・ミラー。そしてその妻ミュリエルにメランコリックな大人の色気が漂う「好奇心」過ぎ去りし日の:」のレオ・マツサリ。

監督は「イスタンブール」「サマータイム・キラ」等、テンポのあるアクションを得意とするアントニオ・イサシ。

(カラー作品/1時間53分/ジョイパックフィルム提供)

1月23日(土)よりロードショー

＊特別鑑賞券¥1200(一般1500円/大・高1300円の処)発売中!

国電有楽町中央口前 アートシアター
有楽シネマ (201) 3066